

千葉県立沼南高柳高等学校の部活動における活動方針

学校教育目標

- 1 常に真理を追究してやまない人間を育成する
- 2 自己の可能性を啓発し、創造力豊かな人間を育成する
- 3 ひろく相互の連帯と協力を努める人間を育成する
- 4 すすんで健康の保持と安全管理に努める人間を育成する

I 活動方針

- 1 目的 学校教育目標の実現に向け、異年齢集団による自主的・自律的な活動を通して、生涯にわたり、運動や文化に親しむ能力や態度を育てる。

部活動により身につけられる資質能力

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| ○豊かな人間性 | ○明るく充実した学校生活 | ○一人一人の個性の伸長 |
| ○豊かな人間関係 | ○創造力・想像力・表現力 | ○充実感と達成感 |
| ○責任感・帰属意識 | ○規範意識・社会性・協調性 | ○ボランティア精神 |
| ○専門的な知識・技能 | ○体力の向上や健康増進 | ○地域・他校との交流 |

2 運営

① 適切な運営のための体制整備

- ・各部活動顧問は、活動計画および活動実績を適宜管理職に報告する。
- ・年間を見通した活動日や大会予定等を生徒・保護者に知らせる。

② 適切な指導

- ・部活動の目的・目標を部員・顧問・保護者で共有する。
- ・顧問の経験則にとらわれず、科学的な練習・トレーニングを取り入れる。
- ・対話を重視した指導を行う。
- ・生徒の自主性を育む指導を行う。
- ・体罰、パワハラ、セクハラ等の根絶。

③ 適切な活動時間

- ・学業とのバランスや生徒の体調等を考慮し、週の中で適切に休養日を設ける。
- ・長期休業中についても、上記に準じて休養日を設ける。
- ・適切な休養が取得できるよう、月間・学期毎・年間で休養日を調整し、計画的に設定する。

④ 学校のサポート体制

- ・学校の教職員全体が見守る体制を作る。
- ・顧問会議、部長会議等を開催し、自主的・自律的な活動を推進する。
- ・顧問、職員の情報交換を随時（日常的に）おこなう。

⑤ 学校・家庭・地域の連携

- ・学校の方針を周知し、保護者の理解を得るように努める。
- ・練習試合や校外練習等の交通費や活動にかかる諸経費等については、保護者に連絡する。
- ・保護者に、生徒の体調管理（睡眠、食事等）への協力を依頼する。

⑥ 事故防止と安全への配慮

- ・生徒の体調管理およびケガの防止に努める。
- ・部活動における安全管理、安全指導を行う。
- ・気象状況、災害発生に伴う安全確保を行う。
- ・熱中症の防止に関しては、「スポーツ活動中の熱中症予防5ヶ条」や「熱中症予防運動指針」等を参考に適切に対応をする。
- ・未然防止に努めるが、万が一事故が発生したら、迅速かつ丁寧な対応をする。